

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)								
事業名	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	高等教育企画課		高等教育企画課長 浅田 和伸		
会計区分	一般会計		政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定) 「留学生30万人計画」(平成20年7月29日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国が世界規模での人材獲得競争を繰り広げる中、海外の優秀な人材を惹きつけるに至っていない日本の大学の現状を打破するため、国内外の優秀な学生・教員が集い交流できる環境を有する国際化の牽引役となる大学を拠点として創出。平成23年度からは行政刷新会議事業仕分け第3弾の評価結果を受け、「大学の国際化のためのネットワーク形成事業」として、選定大学間や国際化に積極的な大学とのネットワーク化の推進や産業界との連携により、これまでの教育資源・成果の水平展開や内容の充実を図り、一層の大学の国際化を図っている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	留学生受入数、留学生比率や外国人教員比率、海外大学との新たな教育連携プログラムの実施等の達成目標を設定した上で、我が国大学の国際化の拠点として、基礎的インフラ整備(英語で学位が取得できるプログラムの開設、留学生の学修・生活支援のための体制整備、留学生受入れのワンストップサービス海外拠点の整備、大学間交流協定の拡大等)を行う大学を公募により選定し、重点的な財政支援を行う。採択された大学は、これら基礎的インフラ整備に加え、採択大学や国際化に意欲的な大学間のネットワークの形成及び産学連携体制の構築を進める。(定額補助)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	3,770	2,988	2,611	2,350		
		繰越し等	0	0	0			
		計	-5	3	0			
	執行額	3,765	2,991	2,611	2,350			
	執行率(%)	3,587	3,279 ※1	3,118 ※1				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)
	選定大学における外国人学生受入数		成果実績	人	26,390	26,755	28,357	50,000
			達成度	%	118	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	英語コースの開設数		活動実績 (当初見込み)	コース	79 ( 84 )	127 ( 144 )	155 ( 156 )	157 ( 157 )
	海外大学共同利用事務所の開所数		活動実績 (当初見込み)	か所	7 ( 8 )	8 ( 8 )	8 ( 8 )	8 ( 8 )
単位当たりコスト	222(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =24年度執行額(3,109百万円)/取組件数(14大学)				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際化拠点整備事業費補助金	2,332百万円						
	審査・評価等経費	18百万円						
	国際化拠点整備事業費補助金事務費	1百万円						
	計	2,350百万円		※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	平成20年7月に策定された「留学生30万人計画」及び平成22年6月に閣議決定された「新成長戦略」において、我が国への外国人留学生の受入数30万人を目指すとして、外国人留学生の受入体制の構築・強化を始めとする、我が国大学の国際化を推進する本事業の優先度は高く、国が積極的に実施すべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	採択大学の選定にあたっては、各界の有識者によるプログラム委員会及び専門の審査部会を設置。本委員会等において、申請のあった22大学の構想を厳正に審査の上、我が国大学の国際化の中心となりうる13大学を選定。 補助金を交付する際は、事業経費の費目・用途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において支出先・用途を把握するなど、費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本事業では、構想の策定にあたり、設立する英語コースの数や在籍留学生数等の具体的な達成目標を設定し、毎年度、これらの達成状況を把握する等、着実な事業の実施に努めている。平成23年度には、有識者による専門の評価部会を設置し、事業の中間評価を実施し、事業全体としての順調な進展と今後の改善点について確認。本評価の結果を翌年度の補助金の額に反映。事業終了翌年度の平成26年度には、事後評価を実施予定。本事業に関する様々な情報のHPへの掲載等を通じて、広く関係者間でこれら情報・成果の共有・活用の促進を図っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により、13大学で英語コースが155コース開設(平成25年4月現在)され、海外大学共同利用事務所が8カ所で開設されるなど、留学生受入れ等のための国際化拠点の整備が進んでいる。</li> <li>・経費の執行に関して、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。</li> <li>・平成23年度より、事業仕分け第3弾の評価結果を踏まえ、これまでの国際化拠点整備事業の在り方を見直し、事業の成果を我が国の大学全体で共有できるように「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」として組み立て直している。</li> <li>・平成23年度に事業の中間評価を実施。事業全体としての順調な進展と今後の改善点について確認。本評価の結果を翌年度の補助金の額に反映。</li> <li>・平成24年度において、採択13大学の構想責任者とプログラム委員等が参加するシンポジウムを開催。会場がほぼ満員となる約260名が参加し、事業のこれまでの進捗と成果を関係者間で共有し、社会に発信することができた。</li> </ul>				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
※1 年度内に同一補助金内で流用増して執行。 ● 事業関連HP <a href="http://www.uni.international.mext.go.jp/">http://www.uni.international.mext.go.jp/</a>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0177	平成23年	0155	平成24年	0162

## 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

文部科学省  
3,118百万円

職員旅費 0.29百万円  
庁費 0.09百万円 を含む

「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」プログラム委員会」の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、採択大学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【公募・補助】

A.大学(全14件)  
総額:3,109百万円

【補助】

B.(独)日本学術振興会  
総額:8百万円

大学において、英語で学位が取得できるコースの設置、外国人教員の配置、外国人学生受入れのための海外広報拠点の整備、事務体制の整備等、我が国を代表する国際化拠点としての総合的な体制整備等を実施。

「国際化拠点整備事業プログラム委員会」を設置し、本補助金事業の選定に係る審査、各大学の取り組みの成果に係る評価等の業務を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.国立大学法人東京大学			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費・謝金	農学系カリキュラム担当特任教授等雇用経費、英語版HP翻訳謝金等	194			
印刷製本費等	学生募集パンフレット印刷製本費、広報ビデオ制作費、英語コース面接会場借料等	52			
旅費	国内旅費(ワークショップ パネリスト移動費等)、外国旅費(留学フェア開催、現地入試等)	48			
物品費	消耗品費、図書費	2			
計		296	計		0
B.(独)日本学術振興会			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費・謝金	プログラム委員会謝金、プログラム担当職員雇用経費等	6			
旅費	国内旅費(プログラム委員会、採択大学現地調査等)	1			
印刷製本費等	プログラム委員会印刷製本費、プログラム委員会会議費等	0.7			
物品費	消耗品費	0.3			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

**支出先上位10者リスト**

A.大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人東京大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	296	-	-
2	国立大学法人九州大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	292	-	-
3	国立大学法人筑波大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	282	-	-
4	早稲田大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	280	-	-
5	国立大学法人京都大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	260	-	-
6	国立大学法人東北大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	257	-	-
7	国立大学法人名古屋大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	257	-	-
8	同志社大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	228	-	-
9	国立大学法人大阪大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	223	-	-
10	明治大学	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業	217	-	-

B.大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業の審査・評価等

※補助事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業の審査・評価等	8	-	-

## 背景・趣旨

- 世界の有力大学間の競争が激化する中、日本の大学の国際化は不十分。特に、留学生比率や外国人教員比率は低調。
- 優秀な外国人学生や外国人教員の受入れを促進することにより、我が国の大学の国際化を推進することが必要。
- 国際化の拠点としての総合的な体制整備を図り、質の高い外国人学生の受入を推進する取組を重点支援。

### 【採択13大学】

東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学

## 実施内容

### 【質の高い留学生の受入環境の強化】

- ・ 英語による授業で学位取得が可能なコースの導入  
平成25年度4月までに学部32(約900名在籍)、大学院123コース(約1,500名在籍)を新設(実績)  
→ 平成25年度末までに学部33、大学院124コースを開設(目標、H24年度までに開設済みのものを含む)
- ・ 英語による質の高い授業を行うための国際公募による外国人教員等の配置  
外国人教員比率:5.6%(H20.5.1) → 7.0%(H24末実績) → 10.2%(H32末目標)
- ・ 海外でのリクルート活動(留学フェアの開催、海外高校訪問等)  
留学生数:2万3千人(H21末実績) → 2万8千人(H24末実績)  
→ 5万人以上(H32末目標)
- ・ 現地でのワンストップサービス(留学情報や資料の提供、入試の実施等)  
提供のための「海外大学共同利用事務所」の設置

### 【海外大学共同利用事務所】

- 東北大学  
ロシア / モスクワ
- 筑波大学  
チュニジア / チュニス
- 東京大学  
インド / バンガロール
- 名古屋大学  
ウズベキスタン / タシケント
- 京都大学  
ベトナム / ハノイ
- 九州大学  
エジプト / カイロ
- 早稲田大学  
ドイツ / ボン
- 立命館大学  
インド / ニューデリー



<京都大学 ハノイ>



<九州大学 カイロ>

### 【留学生のためのサポート体制の整備】

- ・ 日本語、日本文化に関する学習機会の提供
- ・ 留学生に対する専門スタッフによる生活支援、就職支援(企業見学、ビジネスマナー研修等)

### 【産業界との連携】 産学連携フォーラム、グローバル人材育成スカラーシップ、講師派遣等

### 【大学間ネットワークの形成等】

英語コースの授業開放、規程等翻訳文書データベースの公開、国際担当者研修等



<日本留学説明会(シンガポール)>



<Global 30 産学連携フォーラム>



<国際業務担当職員実務研修>

## 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

### 全教員数に対する外国人教員数の比率

No.	大学名	外国人教員比率	計画時	平成21年度末	平成22年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成32年度末
			(H20.5.1)	実績	目標	実績	実績	実績	目標	目標
1	東北大学	外国人教員数	129	172	155	192	192	196	198	265
		全教員数	3,313	3,313	3,313	3,313	3,329	3,580	3,313	3,313
		外国人教員比率	3.9%	5.2%	4.7%	5.8%	5.8%	5.5%	6.0%	8.0%
2	筑波大学	外国人教員数	86	139	121	163	181	175	160	160
		全教員数	1,607	1,716	1,589	1,701	1,714	1,732	1,541	1,465
		外国人教員比率	5.4%	8.1%	7.6%	9.6%	10.6%	10.1%	10.4%	10.9%
3	東京大学	外国人教員数	165	163	168	175	182	203	174	277
		全教員数	5,413	5,667	5,433	5,675	5,867	6,021	5,463	5,523
		外国人教員比率	3.0%	2.9%	3.1%	3.1%	3.1%	3.4%	3.2%	5.0%
4	名古屋大学	外国人教員数	72	113	94	104	111	127	117	150
		全教員数	2,048	2,165	2,126	2,193	2,058	2,053	2,126	2,126
		外国人教員比率	3.5%	5.2%	4.4%	4.7%	5.4%	6.2%	5.5%	7.1%
5	京都大学	外国人教員数	160	167	170	234	242	259	220	320
		全教員数	3,186	3,117	3,200	3,384	3,458	3,476	3,200	3,200
		外国人教員比率	5.0%	5.4%	5.3%	6.9%	7.0%	7.5%	6.9%	10.0%
6	大阪大学	外国人教員数	83	110	108	134	136	125	148	210
		全教員数	2,883	3,036	2,900	3,088	3,148	3,176	2,900	2,900
		外国人教員比率	2.9%	3.6%	3.7%	4.3%	4.3%	3.9%	5.1%	7.2%
7	九州大学	外国人教員数	121	121	150	150	168	186	200	350
		全教員数	3,806	3,763	3,850	3,791	3,897	3,908	3,850	3,800
		外国人教員比率	3.2%	3.2%	3.9%	4.0%	4.3%	4.8%	5.2%	9.2%
8	慶應義塾大学	外国人教員数	384	341	480	342	346	344	650	800
		全教員数	6,705	5,231	6,780	5,223	5,105	5,088	6,800	6,830
		外国人教員比率	5.7%	6.5%	7.1%	6.5%	6.8%	6.8%	9.6%	11.7%
9	上智大学	外国人教員数	172	177	175	164	173	178	202	242
		全教員数	1,162	1,191	1,165	1,195	1,184	1,200	1,192	1,222
		外国人教員比率	14.8%	14.9%	15.0%	13.7%	14.6%	14.8%	16.9%	19.8%
10	明治大学	外国人教員数	139	172	147	196	201	215	175	267
		全教員数	2,662	2,740	2,662	2,831	2,858	2,891	2,662	2,662
		外国人教員比率	5.2%	6.3%	5.5%	6.9%	7.0%	7.4%	6.6%	10.0%
11	早稲田大学	外国人教員数	475	590	497	598	611	617	581	770
		全教員数	5,435	6,626	5,517	6,597	6,585	6,482	5,536	5,500
		外国人教員比率	8.7%	8.9%	9.0%	9.1%	9.3%	9.5%	10.5%	14.0%
12	同志社大学	外国人教員数	155	164	172	176	202	211	195	210
		全教員数	1,814	1,942	1,842	2,009	2,075	2,148	1,880	1,890
		外国人教員比率	8.5%	8.4%	9.3%	8.8%	9.7%	9.8%	10.4%	11.1%
13	立命館大学	外国人教員数	233	243	255	263	248	261	270	360
		全教員数	2,356	2,509	2,390	2,560	2,573	2,696	2,400	2,400
		外国人教員比率	9.9%	9.7%	10.7%	10.3%	9.6%	9.7%	11.3%	15.0%
合計	外国人教員数	2,374	2,672	2,692	2,891	2,993	3,097	3,290	4,381	
	全教員数	42,390	43,016	42,767	43,560	43,851	44,451	42,863	42,831	
	外国人教員比率	5.6%	6.2%	6.3%	6.6%	6.8%	7.0%	7.7%	10.2%	

## 大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業

### 全学生数に対する留学生数の比率

No.	大学名	全学生数 に対する留 学生数比 率等	平成21年度末	平成22年度末	平成22年度末	平成23年度末	平成24年度末	平成25年度末	平成32年度末
			実績	目標	実績	実績	実績	目標	目標
1	東北大学	留学生数	1,664	1,623	1,916	1,822	1,877	2,000	3,000
		全学生数	17,797	17,847	18,063	18,093	18,003	17,847	17,847
		留学生比率	9.3%	9.1%	10.6%	10.1%	10.4%	11.2%	16.8%
2	筑波大学	留学生数	2,077	2,000	2,383	2,304	2,323	3,000	4,500
		全学生数	17,691	16,854	17,468	17,554	17,228	17,254	18,104
		留学生比率	11.7%	11.9%	13.6%	13.1%	13.5%	17.4%	24.9%
3	東京大学	留学生数	2,785	2,580	3,121	3,079	3,090	2,800	3,500
		全学生数	26,774	28,000	27,006	26,980	26,633	28,000	28,000
		留学生比率	10.4%	9.2%	11.6%	11.4%	11.6%	10.0%	12.5%
4	名古屋大学	留学生数	1,638	1,600	1,742	1,832	1,869	2,100	3,000
		全学生数	16,448	15,682	16,569	16,593	16,532	15,682	15,682
		留学生比率	10.0%	10.2%	10.5%	11.0%	11.3%	13.4%	19.1%
5	京都大学	留学生数	1,790	1,643	2,001	2,108	2,132	2,121	3,200
		全学生数	22,689	22,700	22,758	23,844	23,870	22,700	22,700
		留学生比率	7.9%	7.2%	8.8%	8.8%	8.9%	9.3%	14.1%
6	大阪大学	留学生数	2,059	1,530	2,345	2,588	2,699	1,960	3,000
		全学生数	24,900	24,850	24,921	24,835	24,611	25,280	26,320
		留学生比率	8.3%	6.2%	9.4%	10.4%	11.0%	7.8%	11.4%
7	九州大学	留学生数	1,896	1,500	2,122	2,189	2,214	2,300	3,900
		全学生数	18,588	19,000	18,765	18,967	18,925	19,000	19,000
		留学生比率	10.2%	7.9%	11.3%	11.5%	11.7%	12.1%	20.5%
8	慶應義塾大学	留学生数	1,121	1,400	1,202	1,132	1,240	2,050	4,000
		全学生数	33,174	33,850	33,571	33,535	33,267	34,500	36,450
		留学生比率	3.4%	4.1%	3.6%	3.4%	3.7%	5.9%	11.0%
9	上智大学	留学生数	787	1,100	837	1,049	1,328	1,490	2,600
		全学生数	11,929	13,100	11,963	11,986	12,306	13,490	14,600
		留学生比率	6.6%	8.4%	7.0%	8.8%	10.8%	11.0%	17.8%
10	明治大学	留学生数	866	1,000	1,023	1,162	1,262	1,600	4,000
		全学生数	31,460	31,733	32,431	32,613	32,271	32,300	32,300
		留学生比率	2.8%	3.2%	3.2%	3.6%	3.9%	5.0%	12.4%
11	早稲田大学	留学生数	3,438	3,280	4,170	4,280	4,427	4,270	8,000
		全学生数	53,585	53,800	54,179	54,146	54,113	53,800	53,800
		留学生比率	6.4%	6.1%	7.7%	7.9%	8.2%	7.9%	14.9%
12	同志社大学	留学生数	1,006	1,110	1,496	1,387	1,857	2,200	3,500
		全学生数	26,560	27,328	27,335	28,097	28,308	28,590	29,280
		留学生比率	3.8%	4.1%	5.5%	4.9%	6.6%	7.7%	12.0%
13	立命館大学	留学生数	1,956	1,563	2,032	1,823	2,039	2,136	4,005
		全学生数	36,071	36,394	36,013	35,847	35,166	36,113	35,507
		留学生比率	5.4%	4.3%	5.6%	5.1%	5.8%	5.9%	11.3%
合計		留学生数	23,083	21,929	26,390	26,755	28,357	30,027	50,205
		全学生数	337,666	341,138	341,042	343,090	341,233	344,556	349,590
		留学生比率	6.8%	6.4%	7.7%	7.8%	8.3%	8.7%	14.4%

# 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」ウェブサイト

→ <http://www.uni.international.mext.go.jp/>

- 2010年9月のウェブサイト開設以来、**世界各地から延べ50万人以上が訪問**
- 採択大学や英語コースの紹介の他、留学フェア等のイベントの告知や結果報告にも活用
- 日本語・英語のみならず、内容に応じて**他の言語での案内を実施**、アクセス数増加に貢献
- **13大学に加え、国際化に意欲のある他大学にも開放**、イベント案内や情報の共有が可能



● 英語でも閲覧可能

● 関係英文資料を公開・共有

● 世界7カ国8箇所にある海外大学共同利用事務所において提供するサービスについて掲載

● 13大学の英語コースリストを掲載  
● 取得したい学位の種類や専攻に応じて適切なコースを参照できる  
● フリーワードでの検索も可能

● 13採択大学の詳細を紹介

● 直近のイベント情報をページの上部に掲載

● 現在は6月にマレーシアで行う日本留学説明会について、マレー語と日本語(+英語ページ)で案内

● **You Tube** や **FaceBook** にも公式ページを開設。多様なメディアを活用し、世界の若者への情報発信を強化。

## 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」ウェブサイト 訪問者数推移(四ヶ月毎)2010/9/1 - 2013/4/30

【凡例】

日本
中国
韓国
台湾
ASEAN諸国
米国
欧州諸国

- 2010年9月のウェブサイト開設以来、四ヶ月毎の訪問者数が**2年4か月で約12倍増加**(9,081件 → 106,498件)
- **留学フェアの開催にあわせ、訪問者数が増加** → 「G30」の取組の広報とブランド化にウェブサイトとフェアが相乗して貢献
- フェアが開催されていない**米国において、訪問者数が約25倍の急激な増加**(295件 → 7,520件)

【留学フェア開催実績】

2011.1	2011.2	2011.2	2011.11	2011.11	2011.11	2012.5	2012.9	2012.12	2012.11
--------	--------	--------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	---------

Rank	2010/9/1-2010/12/31	2011/1/1-2011/4/30	2011/5/1-2011/8/31	2011/9/1-2011/12/31	2012/1/1-2012/4/30	2012/5/1-2012/8/31	2012/9/1-2012/12/31	2013/1/1-2013/4/30								
-	<b>total</b>	<b>9,081</b>	<b>total</b>	<b>28,502</b>	<b>total</b>	<b>40,447</b>	<b>total</b>	<b>87,895</b>	<b>total</b>	<b>58,278</b>	<b>total</b>	<b>89,817</b>	<b>total</b>	<b>113,300</b>	<b>total</b>	<b>106,498</b>
1	Japan	4,609	Indonesia	7,287	Japan	14,601	Vietnam	25,184	Japan	19,102	Japan	27,451	Japan	28,641	Japan	27,365
2	India	664	Japan	5,837	Indonesia	12,682	Philippines	22,347	Taiwan	4,911	Thailand	11,827	Thailand	19,997	Indonesia	16,972
3	Thailand	543	India	5,671	South Korea	2,083	Japan	15,304	United States	3,969	Singapore	4,394	Indonesia	10,461	United States	7,520
4	United Kingdom	344	Thailand	2,768	United States	1,967	United States	3,926	Indonesia	3,428	United States	4,308	United States	6,844	(not set)	4,270
5	Malaysia	322	United States	980	(not set)	964	Indonesia	3,003	India	2,497	India	4,190	South Korea	5,227	Vietnam	3,504
6	United States	295	United Kingdom	702	China	769	South Korea	1,565	China	1,705	Indonesia	3,230	India	3,284	Taiwan	3,136
7	China	262	(not set)	633	United Kingdom	607	China	1,479	Philippines	1,497	Taiwan	2,565	(not set)	2,876	India	2,947
8	Indonesia	258	Malaysia	575	Thailand	580	United Kingdom	1,280	Malaysia	1,437	Rwanda	2,220	Vietnam	2,857	United Kingdom	2,473
9	Vietnam	232	China	426	Singapore	574	Taiwan	1,180	United Kingdom	1,397	China	2,139	China	2,626	China	2,465
10	Poland	211	South Korea	278	Malaysia	536	India	995	Singapore	1,341	Vietnam	1,863	Egypt	2,556	Thailand	2,435
11	South Korea	173	Germany	253	India	401	Malaysia	966	Vietnam	1,187	Philippines	1,831	Taiwan	2,434	Malaysia	2,239
12	Germany	117	Egypt	241	Vietnam	399	Thailand	768	Thailand	999	United Kingdom	1,373	United Kingdom	1,869	Philippines	2,141
13	Uzbekistan	74	Singapore	223	Germany	335	Germany	638	Germany	934	(not set)	1,368	Malaysia	1,740	Singapore	1,940
14	Taiwan	73	Romania	220	Australia	220	Singapore	598	South Korea	886	Malaysia	1,300	Philippines	1,502	South Korea	1,858
15	Singapore	65	Uzbekistan	188	Taiwan	206	Canada	543	(not set)	670	South Korea	1,185	Singapore	1,438	Turkey	1,483
16	Azerbaijan	60	Vietnam	160	Egypt	183	(not set)	532	Canada	652	Egypt	1,136	Canada	1,423	Canada	1,191
17	Canada	55	France	135	Canada	182	Australia	349	Morocco	590	Mexico	945	France	1,083	Germany	1,178
18	Turkey	55	Taiwan	122	Philippines	136	Hong Kong	341	Turkey	514	Canada	883	Germany	958	Australia	1,014
19	Australia	41	Canada	110	France	131	Turkey	339	Australia	481	Tunisia	785	Australia	823	Egypt	958
20	France	37	Azerbaijan	98	Bangladesh	119	France	332	Hong Kong	479	Germany	749	Bangladesh	757	France	934

# 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」中間評価について

## 1. 概要

- 各大学の平成24年度までの実施状況等を評価し、必要な助言を行うことで、適切かつ効果的な取組の推進を促すことが目的。
- 評価は、各大学から提出のあった中間評価調書に基づく書面評価と現地調査(構想責任者への質疑による詳細の確認、教職員及び学生からのヒアリング、教育現場の視察)により実施。
- 「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業プログラム委員会」(委員長:黒田壽二 学校法人金沢工業大学学園長・総長)により、評価結果を取りまとめ。
- 評価の結果は翌年度以降の各大学への予算配分に反映。

## 2. 評価結果

大学名	総括評価	評語
東北大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
筑波大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
東京大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
名古屋大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
京都大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
大阪大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
九州大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
慶應義塾大学	B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
上智大学	B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
明治大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
早稲田大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
同志社大学	S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
立命館大学	A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。

### 【総括評価の基準】

評価	評語
S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
B	当初目的を達成するには、助言等を考慮し、より一層の改善と努力が必要と判断される。
C	これまでの取組状況等に鑑み、目的の達成が困難な取り組みがあると考えられ、成果を見込めない取り組みについては縮小・廃止し、財政支援規模の縮小が妥当と判断される。
D	これまでの取組状況等に鑑み、事業目的の達成は著しく困難と考えられ、財政支援の中止が妥当と判断される。

## 3. フォローアップシンポジウム

- 中間評価実施の翌年度の平成24年度には、本事業における成果及び今後の発展への課題の把握等をフォローアップすることで、採択13大学のみならず他の大学の国際化に貢献することを目的としたシンポジウムを開催。
- 本シンポジウムには、本事業プログラム委員や採択大学の構想責任者等に加え、教職員・学生・企業・外国の機関等から、会場が満員となる約260名が参加。
- 各大学からは中間評価での指摘事項への対応状況・計画を含む、これまでの取組等につきプレゼン。
- ディスカッションの部においては、各パネリストはもちろん、一般傍聴者からも今後の高等教育の更なる国際化の推進に資する、有意義な意見が述べられた。

事業 NO	1
論点等説明シート	
担当局	高等教育局
事業名	大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業
論 点 等	
<p>○事業の中間評価の結果はどうであったのか。</p> <p>○事業の成果は上がっているのか（英語で学位が取れるコース数と達成度、留学生数増への貢献度など）。</p> <p>○今後の大学の国際化への支援を検討するにあたり、本事業での成果や課題はどのように活用するのか。</p>	